

年 度 評 価 シ ー ト

課名 高齢者福祉課

施設の名称 静岡市小鹿老人福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団										
1 履行状況											
(1) 目標達成 利用者満足度 目標値90%、実績値97.9%（前年度97.3%）、達成率108.8%（前年度比100.6%）											
(2) 施設利用状況 利用者数											
<table border="1"><thead><tr><th>施設名</th><th>令和7年度</th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>小鹿老人福祉センター</td><td>36,572人</td><td>36,410人</td><td>33,189人</td><td>30,580人</td></tr></tbody></table>		施設名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	小鹿老人福祉センター	36,572人	36,410人	33,189人	30,580人
施設名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度							
小鹿老人福祉センター	36,572人	36,410人	33,189人	30,580人							
【参考】平成30年度（新型コロナ前）利用者数70,497人 長引くコロナ禍において、高齢者の行動に制限が掛けられたことにより利用者数が激減した。利用者の興味を引くように広報を工夫し、徐々に回復傾向にある。											
(3) 人員配置状況 仕様書に基づき適切な人員配置がなされている。											
(4) 業務実施状況 業務仕様書及び事業計画書に従って実施された。主な事業と参加者数は以下のとおり。											
ア 生活相談・健康相談 駿河区の地域包括支援センターと共催で「健康生活介護相談」を12回開催し、17人が利用した。それだけではなく、「健康生活ミニ講演会と相談会」では講演と質疑応答を組み合わせることで、利用者の不安軽減に繋げた。											
イ 介護予防・健康増進等 しぞーかでん伝体操の実施だけでなく、受講者が自身の体調にあわせて意欲的に取り組めるよう配慮しつつ、身体機能と認知機能の双方に働きかけた「健康体操」や3B体操など健康増進事業を実施し延べ1,238人が参加した。											
ウ 交流事業 こども食堂への理解を深めるため、座学と実践の2部構成で実施し、地域活動へ参加する機会を創出し「誰もが活躍するまちづくり」に貢献をした。											
【検証・分析等】 各種事業は仕様書を上回る事業数が実施されている。「健康体操」は受講者が自身の体調にあわせて意欲的に取り組めるよう配慮しつつ、身体機能と認知機能の双方に働きかけるプログラム構成となっており、質が高く定員の3.5倍という申込み倍率に表れているとおり利用者からの支持と期待が寄せられている。また、「受講者同士の交流」という副次的な価値を創出しており、高齢者の孤独・不安の解消や緩やかな繋がりのある「居											

場所」の提供という施設の目的を達成している。 また、子ども食堂や特別支援学校との有機的な連携により、高齢者が地域社会の「支える側・伝える側」として活躍する機会を創出している点が評価できる。 また、体力差の影響を受けにくいボッチャの特性を活かして、特別支援学校の生徒と高齢者が自然に手を取り合える環境を創出し、相互理解と成長を促した 【確認結果】 ○：協定書等の内容が適正に履行されている。
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等） 全ての実施事業で受講者アンケートを実施しており、人気のある講座の実施回数を増やして利用者のニーズに応えている。 【確認結果】 ○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価 （１）利用者満足度調査 年間を通じて来館者を対象にアンケート調査を実施した。 【調査結果】 有効回答数：248件、「満足」「やや満足」の回答数：243件 利用満足度：97.9%（前年度97.3%） 【検証・分析等】 利用満足度は高い水準を維持しており、利用者から好評を受けている。 【確認結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。 （２）市民アンケート 年間を通じて、生涯学習センター（同じ建物内の駿河を除く 10 館）の利用者を対象とした認知度調査を実施した。 有効回答数 5,680 件、当該施設を知っているという回答数：4,061 件（71.5%） 【検証・分析等】 市内全域を対象として、3分の2以上にあたる多くの方に認知されていることが分かるが、まだ改善の余地はあるため、引き続き周知活動を行う必要がある。 【確認結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。 （３）その他の調査 【確認結果】 －：未実施
4 指定管理者の経理状況の評価 【収支状況】 指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。 【検証・分析等】 光熱費の高騰は精算により対応し、人件費や物価高についても指定管理者の努力により運営されている。 【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

高齢者の参加しやすいプログラム構成で事業を提供することで、不安の軽減や健康への関心をもつ機会も提供している。また、子ども食堂ネットワークと共催したボランティア講座では、高齢者が支える側に回る契機を創出し「誰もが活躍するまちづくり」へ貢献し高齢者の社会参加を促した。

利用者満足度も高く利用者からの支持と期待が寄せられている証拠であり、適切な施設運営ができている。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。